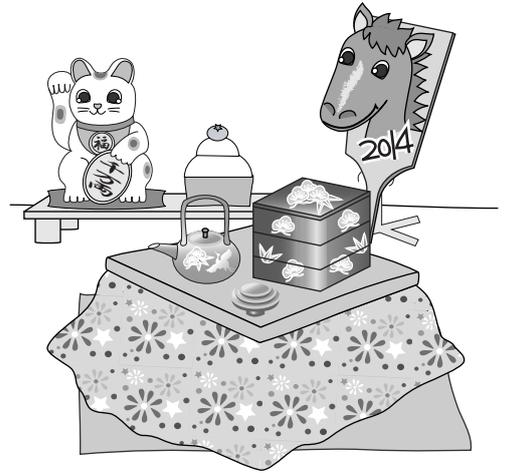


皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

歯の痛みは耐え難い苦痛で、尿路結石と並んで最も強い痛みの一つです。何らかの理由で歯の神経が刺激を受けたり炎症を起こすと痛みを感じます。痛みの感じ方はいろいろで、人によって表現は異なりますが、ズキズキする痛み、鋭い痛み、鈍い痛み、冷たいものがしめたりキーンという痛みなどなど。またすぐに消える痛みもあれば、持続する痛みもあります。一般的に歯が痛むと、むし歯を思い浮かべますが、実は様々な原因によって歯に痛みを感じます。患者さんからの痛みの訴えを手掛かりに、歯科医師は原因を探ります。歯が本当に原因の人もいれば、そうでない場合もあるのです。今月は「歯の痛み①」についてご紹介したいと思います。

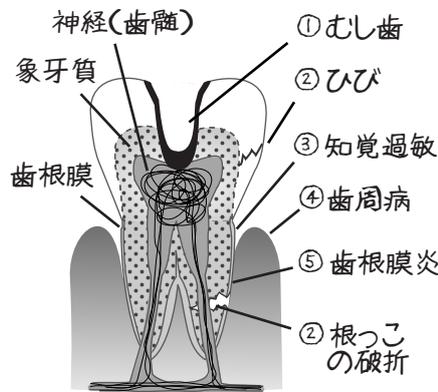


歯に原因のある痛み

① **むし歯**・・・痛みの原因として最も多いのがむし歯です。むし歯が進行し、むし歯菌が神経(歯髄)の中にまで入り込んで、炎症を起こすための痛みです。根っこの治療を行うことで痛みは消えます。

② **歯のひび・破折**・・・歯科治療で脆くなっていたり、

噛み合わせの問題がある場合に、鳥軟骨や貝の中の石といった硬いものを噛んだときに、歯が割れてしまうことがあります。このひび割れは、肉眼では確認できないものも多く、根っこが破折していることもあ



ります。この割れ目から細菌が入り込み炎症を起こすというケースで抜歯になることもあります。

③ **知覚過敏**・・・過度に噛みがきしたり歯ぎしり等でエナメル質の下の象牙質が露出してしまうと、その

部分が刺激を受けて、ズキンとかキーンという痛みを感じます。専用の歯磨き粉の使用やコーティングを行います。

④ **歯周病**・・・歯と歯ぐきの隙間に細菌が入り込んで生じる歯のまわりの炎症で、程度の差はあれ8割以上の大人が歯周病にかかっているという報告があります。通常、痛みはありませんが、身体の抵抗力が弱いときに急性化して痛みと同時に歯ぐきの腫れや発赤がみられ、膿が出ることもあります。歯周ポケットの清掃や消毒、抗菌剤の投与などをします。

⑤ **歯根膜炎**・・・むし歯でない歯や神経を取った歯がなぜか痛むようなときは、歯の周りにある歯根膜という部分が炎症を起こしていることがあります。歯の食いしばりなどが原因です。意識的に食いしばりをやめて、就寝時はマウスピースを着用するなどの対策をします。

歯が原因でない歯の痛みも少なからずあります。蓄膿症、片頭痛・・・などなど。これらについては、次号でご紹介したいと思います。

◆ 痛みを感じたらすぐに歯科医院を受診して早期に適切は治療を受けましょう ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって 

ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」と話をしていただけなのに・・・。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00～12:30/14:00～18:30
(土曜日は16:30まで)

診療科目 歯科 小児歯科

休診日 木曜・日曜・祝祭日

院長 津谷 良

岡山市中区海吉 1807-14